

日立ITユーザ会 関西支部 人材育成研修 開催概要

研修名	「心理的安全性向上研修～リーダー自身が意識を変え、風通しのよい職場を作る」
概要	<p>チームの心理的安全性を高めるためにリーダーとして身につけておくべき心構えを学びます。</p> <p>チームの心理的安全性を担保するための鍵を握るリーダー・管理職の方におすすめの研修です。冒頭、部下の視点で自分たちの職場の心理的安全性が担保されているかチェックし、現状を振り返ります。そのうえで、リーダー自身がまずは行動を変えることの大切さを認識し、心理的安全性を高めるための仕組み・文化を作るためのポイントを体得します。</p>
開催日・場所	<p>開催日：2026年1月27日（火） 13:00～17:00</p> <p>場所：株式会社日立アカデミー 大阪キャンパス</p>
ニーズ・お悩み	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的安全性を高めるために、リーダーとしてどのように行動すればよいのか学びたい ・リーダー自身が、心理的安全性を阻害するような行動をとっていないかを振り返ってもらいたい
研修のゴール	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的安全性の担保されている職場とそうでない職場の違いを理解する ・自部署の心理的安全性が担保されているかどうか、現状を確認する ・心理的安全性を高めるために、チームに対してリーダーとしてできることを考える
カリキュラム	<p>1. 心理的安全性とは</p> <p>【ワーク】部下の視点で、自分たちの職場が心理的安全性の高い職場かチェックする</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 心理的安全性とは (2) 心理的安全性不足が引き起こす4つの不安 <ul style="list-style-type: none"> ① I G N O R A N T (無知だと思われる不安) ② I N C O M P E T E N T (無能だと思われる不安) ③ I N T R U S I V E (邪魔をしていると思われる不安) ④ N E G A T I V E (ネガティブだと思われる不安) <p>【ワーク】4つの不安のうち、自組織・自部署にあてはまる不安がないか、振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> (3) 心理的安全性を高めることのメリット <ul style="list-style-type: none"> ①クリエイティブな発想が出やすい ②主体的な行動を促しやすい ③若手が成長しやすい ④活気が生まれる (4) 心理的安全性の高い職場 = 馴れ合いではない <p>2. 風通し～信頼関係から生まれる安心感</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 信頼関係のある職場とは～半径5m以内の人間関係をいかに充実させるか (2) 自分が変わらなければ、周り是不変わる (3) 自己開示しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ①なぜ自己開示が大切か ②自己開示はリスク管理 ③まずは自ら自己開示する <p>【ワーク①】歴代の上司や先輩が話してくれたエピソードで、親近感が湧いたり、聞くことができ良かったと感じたものを洗い出す</p> <p>【ワーク②】自分なら、部下・後輩にどのような自己開示ができるかを考える</p> <p>3. 一体感～個の成長と組織の発展が連動している実感</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 一体感のある組織とは <ul style="list-style-type: none"> ①誇れる仕事である ②成果を出せる環境がある ③ストーリーがある (2) 一体感を醸成するための部下支援 <ul style="list-style-type: none"> ①仕事の本質を伝える ②強みに着目した業務配 ③仕事の任せ方にストーリーを持たせる (3) 前向きな行動を促す、「理」と「情」を用いたコミュニケーション <p>【ワーク】「Iメッセージ」の練習</p> <p>4. チームの心理的安全性を高める～仕組み・文化を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) チームの心理的安全性が向上する仕組み・文化 (2) 情報共有を促進させる <p>【ワーク】自部署の情報共有を加速させるためにできることを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> (3) メンバーの成果を認める～成功体験のシェア (4) 心理的安全性を脅かすメンバーに対処する (5) チームとしての振り返りの時間を確保する～K P T (6) 会議における心理的安全性の担保のポイント <p>【ワーク】会議における心理的安全性を担保するためにできることを、具体的に考える</p> <p>5. まとめ</p>